

国際会議から 重荷重鉄道に関する国際会議 (IHHA 2019)

本会議は2年に一度行われ、おもに重荷重の鉄道、いわゆる鉄鉱石や石炭といった資源などを大量に輸送する貨物鉄道に関するトピックについて議論されています。広く一般的な内容を取り扱っていますが、中でも軌道関係の内容が、34セッション中11と比較的多い国際学会です。軌道に関するセッションの例をあげると、レール傷、溶接、探傷、軌道構造などとなっています。一般的な旅客鉄道と比較して数倍以上の重荷重を直接支持する軌道に関する損傷や設計、また状態管理に関する問題が多く議論されています。

また、今回は「Industry 4.0」（オートメーション化およびデータ化・コンピュータ化を目指す昨今の技術的コンセプト）に焦点を絞った内容となっており、重荷重の鉄道における車両や軌道に設置した各種センサーの利用方法、設備の検査などのデータのデジタル化、ビッグデータの処理方法、またそれらにともなう作業の機械化または制御方法（運転の自動化、ロボットなど）といった発表が多くみられました。



筆者の発表状況



テクニカルビジットで訪れた鉱山鉄道



細田 充  
軌道技術研究部  
レールメンテナンス研究室  
副主任研究員

た。重荷重鉄道の主を占める貨物列車の場合、旅客列車と比べて、システム化や運転の自動化なども適しているのではといった感想をもちました。

開催地のナルビクはノルウェーの中でも北部に位置し、日本から行くには24時間かけて3フライト（東京⇒ヘルシンキ⇒オスロー⇒ナルビク）乗り継いでいく行程でした。また、筆者が訪れた6月は白夜のシーズンで、1日中明るく、時差ぼけも混じって何時か混乱しました。ヨーロッパの参加者のみならずアメリカ、カナダ、オーストラリア、南アフリカ、ブラジル、インドなどの技術者とも交流を深めることができた有意義な会議でした。次回会議は2021年に中国で開催される予定です。

正式名称：International Heavy Haul STS Conference 2019  
開催国：ノルウェー（ナルビク）  
期間：2019/6/10-14  
主催：International Heavy Haul Association  
開催頻度：2年に1回  
次回開催予定：2021年 中国  
ホームページURL：https://ihha2019.com/